

報道関係者各位
プレスリリース

2024年2月7日

株式会社ベストインクラスプロデューサーズ

BICP ニューヨークオフィスが現地よりお届けする定期ウェビナー 第10回 CES/NRF と米国3都市視察から感じ取ったリテール回帰の流れ

～ 「売り」を追求する店舗と「繋がりづくり」を目指す店舗～

開催日時：2024年2月29日（木）17:00～18:30

株式会社ベストインクラスプロデューサーズ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：菅 恭一、以下 BICP）は、ニューヨークオフィス第10回ウェビナー「米国3都市から感じた2極化する D2C ブランドたち」を2月29日（木）17:00～18:30に開催します。今回は、BICPの中村・下津が米国最大のカンファレンスイベントである「CES 2024」（テック見本市）と、「NRF 2024」（リテールショー）で語られた世界の大手企業の取り組み、および今後の展望をレポートします。さらに、米国3都市（ロサンゼルス・ラスベガス・ニューヨーク）での視察から感じ取った様々なブランドの店舗活用の意図を考察していきます。BICP・NY オフィス代表の榮枝の考察も交えながらのセミナー実施となりますので、ぜひご期待ください。



今回の BICP による米国視察では、2024年1月にラスベガスで開催された全米家電協会（CEA）主催の「CES 2024」と、ニューヨークで開催された全米小売業協会（NRF）主催の「NRF 2024」に参加し、2つの世界最大級のカンファレンスで語られた L'Oreal、Walmart、Intel、Hyundai、Levi's、FedEx、Sephora、Glossier などの経営層が考える今後の展望を確認してきました。さらに、米国3都市（ロサンゼルス・ラスベガス・ニューヨーク）にある D2C ブランド、大手リテール、ハイブランド、リユース、GMS、スーパーマーケット、ドラッグストア、ホームセンターなど、70店舗以上を2人の目と足でリアルを感じてきました。

本セミナーでは、様々な分野の店舗視察から感じ取れた「各ブランドが考える店舗活用」の役割を紐解いていきます。コロナ禍を経て、店舗のあり方が大きく変化している現代において、各分野のブランドが店舗にどのような役割を持たせるのか？を皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。

今回のウェビナーで取り上げる内容：

1. CES/NRF で語られた各社の取り組みと今後の展望
2. 2極化する店舗の役割（「売り」から「繋がりづくり」へ移行させるブランド）
3. テクノロジーで顧客体験を向上させ続けるビックテックカンパニー（Amazon/Tesla/Walmart）
4. ウィリアムズバーグに進出したハイブランドの意図とは！？（Hermès/Chanel）

※上記セミナー内容は変更になる場合がございます

新しいビジネスやブランド変革を考えられている方、既存の事業を成長させていきたい方など「挑戦するマーケター」の皆さまにご参加いただければ幸いです。ぜひ下記 URL からお申し込みください。

〈ウェビナー概要〉

場所	：オンライン配信（Zoom）でのウェビナー形式
時間	：2月29日（木）17:00～18:30
プログラム	：17:00～17:10 オープニング 17:10～18:00 BICP 中村、下津による視察報告レビュー 18:00～18:30 NY オフィス榮枝を加えたディスカッション 18:30～19:00 質疑応答（参加自由）

参加費 ； 無料

申し込み URL ； (URL) <https://www.bicp.jp/seminar/entry-ny10>

※フォームへの入力後、Zoom への登録をおこなっていただく必要があります。

※過去参加されたことがない方もご参加いただけます。

当日のスピーカーについて



■中村 元海（なかむら もとみ） BICP / 執行役員 マネージャー
2006年大手インターネット専業広告代理店入社。新卒で新規事業部「EC推進部」に配属され、サイト構築～集客・CRM・サイト解析までをトータルプロデューサー。2011年10月 大手総合広告代理店に入社し、その後2015年9月からBICPの立ち上げに参画。デジタル時代のマーケティングプロデューサーとして、ブランド/コミュニケーション戦略プランニング～実行マネジメント、新規事業/サービス開発、マーケティング部門のDX化などのプロジェクトをリードし、マーケティング活動のインハウス化を支援。



■下津 大樹（しもつ だいき） BICP / マーケティングプロデューサー
2011年広告代理店入社。10年間営業職として、メディア・制作・PR・CRM構築など幅広い業務を経験。製薬会社（通販事業）、総合エンタメ企業、私立大学、不動産企業などに対して、広告メディアと素材制作の業務に従事。特に通販領域では、健康食品・化粧品の新規顧客獲得から顧客ロイヤル化を目的としたCRM施策の提案・実施に加えて、ECサイトのトータルリニューアルを担当。2022年4月よりBICPに入社し、マーケティングプロデューサーとしてクライアントのマーケティング戦略・活動の支援をおこなっている。



■榮枝 洋文（さかえだ ひろふみ） BICP / NY オフィス代表
英 WPP グループ傘下にて日系広告企業アメリカ法人 CFO 兼副社長、株式会社デジタルインテリジェンス取締役などを歴任。2021 年に BICP のニューヨークオフィス代表に就任する傍ら「[BICP MAD MAN レポート](#)」としてニューヨーク情報を提供している。著書に「[広告ビジネス次の 10 年](#)」（翔泳社）、執筆掲載として [MarkeZine](#)（翔泳社）、[日経 XTREND](#)、日本広告業協会（JAAA）会報誌など多数。在ニューヨーク現地の法人コミュニティへの貢献活動として、NPO 法人 JaNet の理事長等も務める。米国コロンビア大学経営大学院（MBA）修了。

■株式会社ベストインクラスプロデューサーズ（BICP）について

BICP は“デジタル時代のマーケティング・プロデューサー集団”として 2015 年 4 月に創業しました。現在は、“マーケティングの力で、人生を楽しめる人を増やす”というビジョンを掲げ、東京、大阪、住田、ニューヨークの各拠点が連携しながら、クライアント社内における、①マーケティング戦略プランニング、②チームビルディング、③プロジェクトマネジメントの支援をおこなっています。2018 年 10 月には、データ活用支援を強化する目的で株式会社ビーアイシーピー・データを分社化しました。プライバシー規制時代のデータ活用戦略策定を、企業理念や顧客ベネフィットの視点で再構築するアプローチをとりながら支援をおこなっています。また、2023 年 7 月には地域や中小企業への支援に注力するために住田オフィスに分社化させ、株式会社ビーアイシーピー・ハナレを設立しました。グループ各社の資源を組み合わせて、マーケティング思考による市場創造と最新のデジタル潮流を踏まえたプロセス自体の変革、双方の視点を持ってクライアント企業を支援しています。

以上

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社ベストインクラスプロデューサーズ 西村・広瀬 E-mail : seminar@bicp.jp